

令和6年6月 斐伊川水系水質情報

令和6年6月(宍道湖6日・中海4日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	4.2	△	平 年 並 み	3.6	△	平 年 並 み	4.9	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.38	○	良好(平年並み)	0.25	○	良 好	0.34	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.041	△	平 年 並 み	0.031	△	平 年 並 み	0.042	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	17	△	平 年 並 み	4.4	○	良 好	12	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	2,810	△	平 年 並 み	11,800	△	平 年 並 み	9,250	△	平 年 並 み
	下層	3,030	△	平 年 並 み	18,100	×	やや高い	11,900	△	平 年 並 み
溶存酸素	上層	8.7		やや低い	8.7		平 年 並 み	11.6		平 年 並 み
	下層	7.9		平 年 並 み	4.4		平 年 並 み	8.7		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4.6	横ばい	3.8	横ばい	5.2	横ばい
全窒素	上層	0.37	横ばい	0.34	やや下降	0.40	横ばい
全リン	上層	0.040	横ばい	0.048	下降	0.065	やや下降

宍道湖の透明度は1.8mから1.2mと下降し、平年並み。中海の透明度は先月と同様に3.2mと横ばいで、良好を維持。米子湾の透明度は1.5mから2.2mと上昇し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の 1/2 以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の 1/2 以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%